

まにわの子



真庭市キャラクター
まにぞう・まにぞうファミリー

令和8年4月17日第4号

真庭市教育委員会学校教育課

文科省2040年に向けたN-E.X.T.ハイスクール構想

高校改革グランドデザイン(R8.2.13公表)

なぜ今、高校改革が必要なのか？

社会が大きく変わるから

2040年には人口が減る/地方の過疎化が進む/AIやデジタルが当たり前になる
知識を「覚えるだけ」の人は評価されにくくなる/自分で考え、協力し、価値を生み出す力が必要

国が大事にする「3つの視点」

<視点1>不確実な時代を自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長

= AIに代わられない力を育てる（学びの在り方の転換=New Transformation）
正解を早く言う力よりも問いを立てる力、考え抜く力、他人と協働する力、生徒の「好き」「得意」を伸ばす
生徒が主役の学びへ（探究・プロジェクト学習）

<視点2>我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成

= 日本や地域を支える人材を育てる（最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化=New Excellence）
理系・デジタル人材が不足する課題解決に向けて、文系・理系の固定観念を見直す
普通科も、専門高校も、地域や産業とつながった学びへ
インターンシップや実社会とつながる授業を重視

<視点3>一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保

= どこに住んでいても、誰一人取り残さない
（ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保=New Education）
地方で高校が減っても、学びの機会は守る
不登校経験のある生徒、特別な支援が必要な生徒、日本語指導が必要な生徒に通信制・定時制も含めて多様な学びを保障

気になったポイント

最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化=New Excellence 普通科改革

AIやデジタル技術を駆使しながら、文理の区分にとらわれない幅広い教養と科学的思考力を備えた新しい価値を創造する人材や、問題解決や探究活動を通じた理数の学びをこれからの経済・社会の発展につなぐことのできる人材、問題発見・解決能力を備えたグローバル人材の育成を目指す。

高校は「みんな同じ勉強をする場所」から、
一人一人が未来を選び、社会とつながって学ぶ場所へ変わる

